

科目名	現場実習 2						年度	2025		
英語科目名	Practicum 2						学期	後期		
学科・学年	スポーツトレーナー科三年制	1年次	必／選	選1	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	内田		教員の実務経験		有	実務経験の職種		アスレティックトレーナー		

### 【科目の目的】

アスレティックトレーナーの業務をしっかりと理解し、救急処置・テーピング・ストレッチなどの基本的実技ができるようにする。また、それら実技を症例・状況に応じて選択応用できることを目的とする。

## 【科目の概要】

トレーナーがどのような役割を果たしているのか、基礎的な学びと実習体験を行います。

## 【到達目標】

- 【A】救急処置
  - 【B】テーピング・ストレッチ
  - 【C】トレーナーの業務理解

## 【授業の注意点】

報告書提出。

身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけるような者は単位取得を認めません。

## 評価基準＝ルーブリック

ループリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 もう少し
到達目標A	スポーツ現場で起こりうる事故に対して自信を持って行動できる		CPRを実施できる。また脳震盪の評価を理解し、実施することができる		CPRの方法を理解している。また、頭部外傷の症状を理解している。
到達目標B	身体に起こりうる症状に対し、臨機応変にテーピングとストレッチができる		各関節・筋肉に対するテーピングを理解し実施できる		全身のパートナーストレッチを理解し実施することができる
到達目標C	状況に応じて積極的に行動することができる		種目特性を理解している		備品の使い方を理解している。

## 【教科書】

## 配布プリント

## 【參考資料】

### 【成績の評価方法・評価基準】

## 課題・平常点

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		現場実習2 Practicum 2			年度	2025				
英語表記					学期	後期				
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル			評価方法	自己評価		
1	トレーナー業務について	トレーナー業務を理解する	1 トレーナーマインド	「人を支える」ための心の持ち方を理解する			1			
			2 選手を支える環境の理解	関係職種、選手を取り巻く環境を理解する						
			3 トレーナーの役割	トレーナーの役割を理解し、イメージを持つことができる						
2	CPR	CPRの流れを理解し実施	1 CPRの流れ	CPRの流れを理解する			2			
			2 CPR実技	手順通り実技を実施することができる						
			3 CPRシミュレーション	状況を想定しCPRを実施することができる						
4・5	頭部外傷の対応	頭部外傷を理解し、慌てず脳震盪の評価ができる	1 頭部外傷について	軽度～重篤なものまで頭部外傷の症状を知る			2			
			2 SCATについて	SCATの内容を知る						
			3 SCAT実施	SCATを理解し、実施することができる						
6・7	下肢のパートナーストレッチ	下肢のパートナストレッチができる	1 下肢の解剖おさらい	筋肉の走行・起始停止の理解			2			
			2 ストレッチの理解	ストレッチ方法を知る						
			3 ストレッチ実技	ストレッチを実施することができる						
8・9	体幹・上肢のパートナーストレッチ	体幹・上肢のパートナーストレッチができる	1 体幹・上肢解剖おさらい	筋肉の走行・起始停止の理解			2			
			2 ストレッチの理解	ストレッチ方法を知る						
			3 ストレッチ実技	ストレッチを実施することができる						
10・11	HOPS	外傷・障害発生時の検査や評価を知る	1 事前準備方法	情報収集の仕方を理解する			2			
			2 観察・触診方法	炎症の症状を理解し正しい観察ができる						
			3 アイシング	アイシングパックを作り、正しいアイシング方法を理解する						
13・14	内がえし捻挫	内がえし捻挫の症状とそれに対する対応方法を学ぶ	1 捻挫の症状	捻挫の症状を理解する			2			
			2 捻挫の処置	捻挫の際のHOPS実施						
			3 テーピング	テーピングを巻くことができる						
15・16	ACL損傷	前十字靱帯損傷の際の症状とそれに対する対応方法を学ぶ	1 ACL損傷の症状	ACL損傷の症状を理解する			2			
			2 処置	ACL損傷時のHOPS実施						
			3 テーピング	テーピングを巻くことができる						
17・18	MCL損傷	膝関節内側副靱帯損傷の際の症状とそれに対する対応方法を学ぶ	1 MCL損傷時の症状	MCL損傷の症状を理解する			2			
			2 処置	MCL損傷時のHOPS実施						
			3 テーピング	テーピングを巻くことができる						
19・20	肉離れ	肉離れの好発部位や症状を理解し、対応方法を学ぶ	1 肉離れの好発部位と症状	肉離れの症状を理解する			2			
			2 処置	肉離れのHOPS実施						
			3 テーピング	テーピングを巻くことができる						
21・22	肘の外傷	肘関節で起こりうる外傷障害を知り、対応方法を学ぶ	1 肘関節の外傷・障害	肘関節外傷障害を理解する			2			
			2 処置	肘関節外傷障害のHOPS実施						
			3 テーピング	テーピングを巻くことができる						
23・24	肩の外傷	肩関節で起こりうる外傷障害を知り、対応方法を学ぶ	1 肩関節の外傷障害	肩の外傷障害を理解する			2			
			2 処置	肩外傷時のHOPS実施						
			3 テーピング	テーピングを巻くことができる						
25・26	運搬方法	運搬方法を知り、実施することができる	1 一人・二人での運搬	一人・二人で運搬できる			2			
			2 ボードを使った運搬	ボードへの乗せ方、協力体制を理解し、実施することができる						
			3 スパインボード使用	頸部外相を理解し、正しい運搬ができる						
27~30	現場見学	トレーナーの目線でスポーツ現場での活動を見学する	1 備品管理使用	備品の使い方を理解し、使用することができる			2			
			2 フィジカルチェック	フィジカルチェックの準備・測定						
			3 リハビリ・トレーニング	リハビリ・トレーニングを見学もしくは補助し、メニューを考えることができる						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかつた、D：まったくできなかつた

備考 等